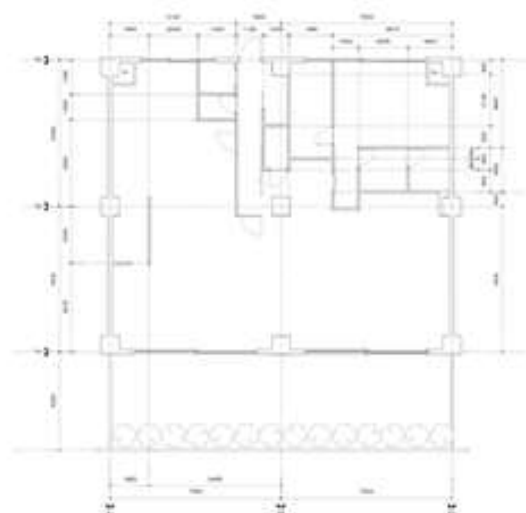




③開口部・室内建具を記入

用途により、下記寸法を参考に、開口部および室内建具を記入する。

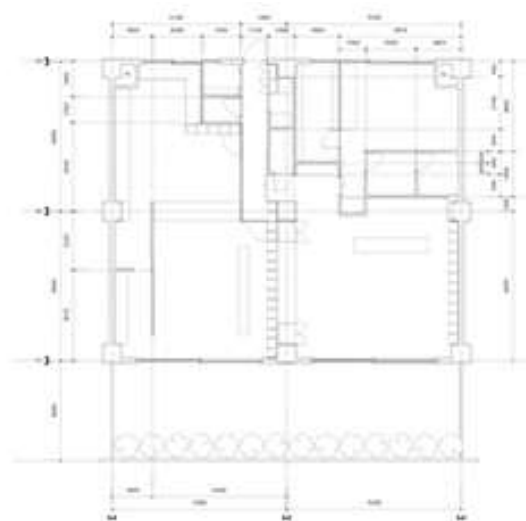
- ・開き戸：W800mm
- ・開き戸（トイレ等）：W700mm～
- ・玄関扉、自動扉：W900mm～



④造作家具（棚・カウンターデスク等）を記入

下記寸法を参考に、造作家具を記入する。

- ・書棚：D350～400mm
- ・カウンターデスク：D600mm～



⑤設備機器（便器・洗面・厨房機器等）を記入

下記寸法を参考に、設備機器を記入する。

- ・便器：D650～700mm、W400mm程度
- ・洗面ボウル：D350mm、W500mm程度
- ・システムキッチン：D650mm～

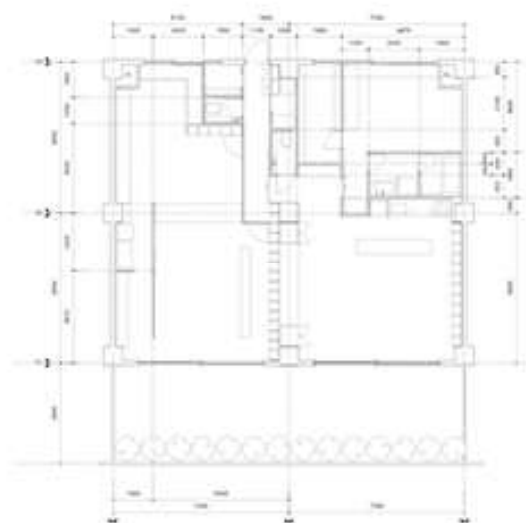




図-9 余分な線を整理した着色前の画面例



図-10 着色例 色数を絞った調和のとれた色構成

#### ホ. 透視図の人物の描き方

例年、透視図に人物を描くことが条件になっている。人物を描く場合、家具やインテリアエレメントとのスケールが合っているかどうかが重要である。人物や植物は、画面の空いた部分を活かしたりスケールを表現するのに大変効果があるが、サイズを間違えると逆効果になるので、よく練習をすることが肝要となる。特に人物を描く時は、その立ち位置での背丈に注意すること。(図-11 参照) ややもすると頭が大きく描かれる傾向があるが、頭、胴、脚のバランスが取れた八頭身の人物とするとよい。

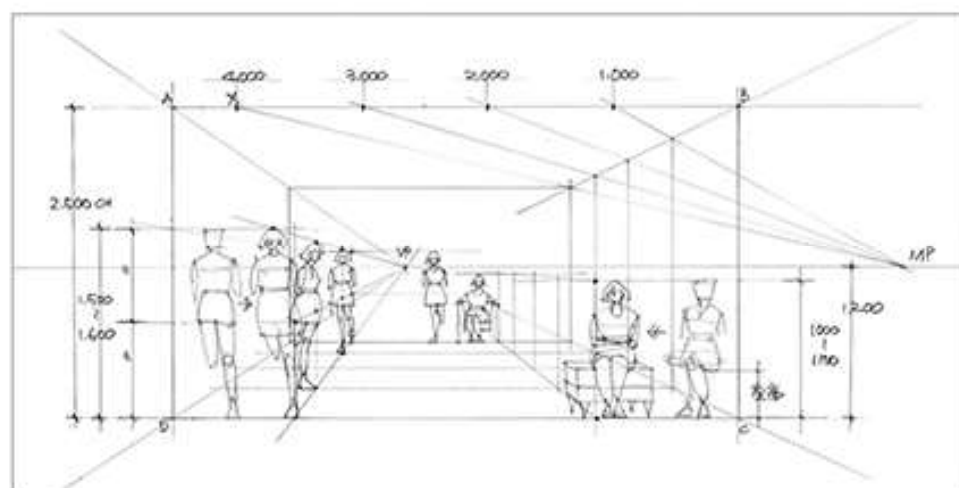


図-11 人物の描き方例

#### ヘ. 透視図に必要な道具 (推奨)

- ・シャープペン 2B程度の0.5mm~0.9mm
- ・鉛筆 2B-4Bの濃い鉛筆(線、影を強調したりぼかしに使用する為)
- ・消しゴム 一般の消しゴムと細かい部分を消す消しゴム、練り消しゴムも有効
- ・字消し板